

Enigma Sopranino の導入(1) —Super Tweeter 導入の経過—

1. 始めに

2015 [大阪サウンドコレクション](#)に行った際、ノアのブースで Enigma の Sopranino という静電型のツイーターのデモを試聴し、その音質に興味を持ちましたので取り扱い店の河口無線を通して試聴機の貸し出しを依頼して試聴を行いました。その結果、意を決して導入を決意し、入荷してきました。今回は、導入後の本格的な試聴を行う前にこれまでの Super Tweeter 導入の経過と Enigma Sopranino の導入にいたる経過を報告いたします。

2. Super Tweeter の導入履歴

Super Tweeter として最初に導入したのは、パイオニアの PT-R7 でその経過は [JBL4350A 奮闘記\(1\)](#)と [JBL4350A 奮闘記\(2\)](#)に記したとおりです。

JBL4350A を PT-R7 を追加して 3 チャンネルのマルチアンプ駆動でいったん落ち着きましたが、クラシックの弦では物足りなく、村田製作所のセラミックツイーター ES103A を PT-R7 にパラで繋ぐことにしました。この ES103A は単身赴任先にもっていきましたので、JBL4350A には音色的にマッチするのではないかと思い、ES105 を追加購入し現在に至っています。単身赴任先から戻り、FAL C90EXW を導入した際、持って帰った ES103A は FAL C90EXW のハイルドライバーとパラに接続して現在に至っています。一方、PT-R7 をグレードアップする目的で TakeT の BAT1 も購入してみましたが、音色的に合わないので、サブシステムの EMI のレコーディングモニターや TELEFUKEN の局用モニターに追加することで現在に至っています。今回、Sopranino の導入を検討したのは、上述のノアのデモで Sonas Faber の OlynpikaIII に Sopranino を付加することで OlynpikaIII の印象がまったく変わってしまっただけの音になったことでした。

2. Sopranino の導入経過

まずは、ディーラーのサイト等から Sopranino に関する情報を収集しましたが、評価記事の内容も好意的でした。

[http://www.noahcorporation.com/enigma/201408enigma_release.pdf#search=%E3%82%A8%E3%83%8B%E3%82%B0%E3%83%9E+Sopranino'](http://www.noahcorporation.com/enigma/201408enigma_release.pdf#search=%E3%82%A8%E3%83%8B%E3%82%B0%E3%83%9E+Sopranino)

<https://www.youtube.com/watch?v=cO6NsTwusUA>

<http://www.ultrahighendreview.com/enigmacooustics-sopranino-super-tweeter-re>

[view/](#)

http://www.positive-feedback.com/Issue73/enigmacoustics_sopraninos.htm

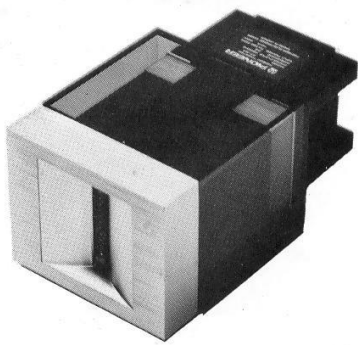
<http://www.stereotimes.com/post/enigmacoustics-electrostatic-super-tweeter>

借用機の試聴結果も上々で、この結果により導入を決めました。

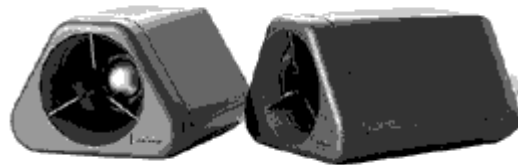
[Enigma Sopranino の試聴\(1\)](#)

[Enigma Sopranino の試聴\(2\)](#)

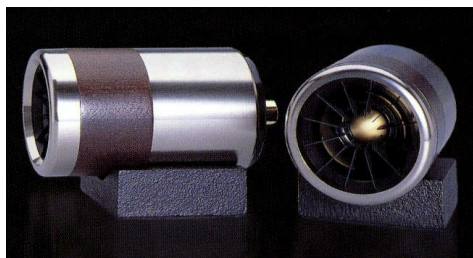
[Enigma Sopranino の試聴\(3\)](#)



PT-R7



ES-105



ES-103A



TakeT BAT1

以上